

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 12

エントリー学校名：茨城県立佐竹高等学校

活動名： **笑顔の奉仕活動は地域の宝  
まごころの思いやりをありがとう**

解決すべき課題：思いやりのある生徒を育成する。

平成 31 年度より入学生徒募集停止により生徒数が年ごとに減少する。それに伴い在校生の活動意欲の減少を最小限に抑えることが喫緊の課題である。また、卒業後に高校生活を振り返った時、母校の学びが有意義であったと振り返らせたい。その実現ために自己有用感が得られる体験（ボランティア）活動を推進する。

目標・方針：困っているのを見たら、自分のまごころを思いやりで表す。

茨城県の施策「一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業」において、本校オリジナルの計画を立てる。学年全体で地元の保育園などの地域へボランティア活動を行う。「園児と遊ぼう」は、1 年生の時の活動を発展させたオリジナルな活動をクラスで話し合っ計画する。東日本大震災ボランティアを実施する。

学校でできる奉仕活動を模索し実践する。台風 19 号災害ボランティア活動を全校生徒で実施した。

活動内容：平成 30 年度の活動事例「園児と遊ぼう」の場合（1 学年全生徒 198 名）

- 6 月 クラス別活動概要を検討 9 月 クラス別活動係分担, 当日行動概要を検討
- 10 月 外部講師（市担当職員）による事前指導「常陸太田市の子育て支援と保育所について」
- 10～11 月 ボランティア活動「園児と遊ぼう」活動後 振り返り（作文, クラス報告）
- 他 令和元年度の主な例 6 月「園児とあそぼう」(2 学年全生徒 198 名 前年度発展編)
- 7 月「東日本大震災ボランティア」(吹奏学部, 生徒会, JRC 部合計 38 名)
- 10 台風 19 号災害ボランティア 20 日（希望者 18 名）, 23 日（全校生徒 386 名）

活動の成果：まごころを思いやりで表せたことで、日常生活において自分に自信がもてるようになった。

- 1 生徒の自己有用感が高まった。（右頁の学校評価のポイント平均が改善, 作文での振り返り）
- 2 日常生活においても自然と思いやりある行動が取れる生徒が増えた。  
例えば, 通学途中で具合が悪くなった人（見知らぬ高齢者や中学生など）に躊躇なく声をかけ、関係者に連絡をするなど適切な行動をする生徒が増えた。自然と善行をする生徒が増えた。
- 3 年々生徒の活動が積極的になってきた。（特に 4 年目の「園児と遊ぼう」）笑顔が多くなった。
- 4 感謝を受けることで次の活動をしたと思う意欲が高まった。「また、ボランティアをしたい。」

アピールポイント（アイデアや工夫）：日頃の小さな積み重ねを行動に表わせた。

- 1 自分のまごころを他人に思いやり（笑顔）で表される。自分でできることをやる。当たり前のことをやる。
- 2 「ありがとうございます」と、言える。言われる。このようなことが自然と増えた。
- 3 本校 3 つのスローガンの一つ「心の佐竹」を日頃から全校で強く意識しているので、災害発生 3 日後に急遽計画した災害ボランティア活動が学校一丸の協力のもとで、その 1 週間後に実施に至れた。
- 4 外部からの賞賛を受けた。（地元からの感謝、県教育委員会の表彰、報道機関 5 社から取材）

※まとめ……生徒による学校評価(令和元年 11 月)分析 (質問項目 22 の経年比較)

ポイント平均（5 段階評価の相加平均）が年々減少している。これは、生徒時針による学校への評価が向上していることと考えられる。このことから生徒の自己有用感が数値に現れたと推測することができる。(1 良⇔5 悪)

項目	この学校に入学して良かったと思っている生徒が多い。					合計	ポイント
	1 そう思う （全く当てはまらない）	2 だいたい そう思う （やや当てはまる）	3 あまり思 わない （全く当てはまらない）	4 思わな い （全く当てはまらない）	5 わからない		
生徒の活動	52	102	93	42	98	387	2.43
平成29年度	40	120	69	32	109	370	2.36
平成31年度	52	141	71	21	94	379	2.21



まごころの思いやりの足跡（平成 31 年度の主な活動）



台風 19 号 市内民家の清掃（女子）



6 月 市内保育園「園児と遊ぼう」



台風 19 号 隣町役場の文書整理（男子）



まごころマッサージ  
7 月 東日本大震災被災地（宮城県）



被災地支援たたえる  
台風19号による浸水被害 過後に災害ボランティアとして全校生徒で活動した県立佐竹高校（常陸太田市稲木町、磯野修校長、生徒300人）に28日、県教育委員会から表彰状が贈られた。生徒を代表し、

台風19号 佐竹高に感謝状  
県教委 台風19号による浸水被害 過後に災害ボランティアとして全校生徒で活動した県立佐竹高校（常陸太田市稲木町、磯野修校長、生徒300人）に28日、県教育委員会から表彰状が贈られた。生徒を代表し、



9 月 茨城国体会場付近清掃(上)  
令和 2 年 1 月 県教委のボランティア活動表彰(左)

※茨城新聞より（2 部とも）